

2012年4月25日

研究開発プロセスの”マルチトラック R&D”の新たな取組み -アステラス創製化合物 ASP3291 の開発におけるドレイス社との提携に関するお知らせ-

アステラス製薬株式会社（本社：東京都、社長：畑中 好彦、以下「アステラス製薬」）は、ドレイス ファーマシューティカルズ社（英名：Drais Pharmaceuticals, Inc.、本社：米国ニュージャージー州、社長 Dr. Donna Temple、以下「ドレイス社」）が新たに運営する会社であるテルサー ファーマ社（英名：Telsar Pharma, Inc.、以下「テルサー社」）に、アステラス製薬が創製し、潰瘍性大腸炎を対象疾患として開発を進める ASP3291 の資産を移転する契約を締結しましたので、お知らせします。テルサー社は ASP3291 の開発・商業化のために設立された会社であり、ASP3291 の実際の開発実務は、豊富な臨床開発の経験を有するドレイス社が行っていきます。

アステラス製薬は、研究開発プロセスの各段階での戦略を複線化し、革新的研究の取り込みを推進するとともに、外部のリソースを有効的に活用して、リスクとコストを管理しながら、高質かつ強固な自社パイプラインを構築する、すなわち、研究開発プロセスのマルチトラック化（“マルチトラック R&D”）に積極的に取り組んでいます。今回の提携もその一環になります。

本契約に基づき、アステラス製薬は前期第 II 相臨床試験準備段階にある経口メラノコルチン作用薬 ASP3291 に関連する全ての権利及び資産を、テルサー社に譲渡します。一方、テルサー社は、ASP3291 の開発、製造、及び、商業化の全ての権利を有するとともに、それに係る費用を負担します。

本契約締結により、アステラス製薬は、テルサー社より、契約締結一時金、及び、ASP3291 の売上に応じたロイヤリティを受け取る権利を有しています。また、アステラス製薬は ASP3291 について、テルサー社が他社との提携を検討する場合、日本市場についての独占交渉権(right of exclusive negotiation)及び第一先買権(right of first refusal)、並びに、日本以外の市場についての非独占交渉権(right of non-exclusive negotiation)を有しています。

なお、ドレイス社の主要株主である米国ベンチャーキャピタルのインターウエスト パートナーズ（英名：InterWest Partners）及びサッター ヒル ベンチャーズ（英名：Sutter Hill Ventures）が、アステラス製薬の企業ベンチャーキャピタルの Astellas Venture Management LLC とともに、テルサー社への総額 14 百万ドルの出資を行っています。

アステラス製薬は、今回の提携及び2011年3月のカーディウス ファーマシューティカル社との提携だけでなく、今後も新たな戦略的提携を模索することにより、“マルチトラック R&D”を積極的に推進し、多くの革新的な新薬を医療の場に提供していきます。

以 上

お問い合わせ先
アステラス製薬株式会社 広報部
TEL:03-3244-3201
HP: http://www.astellas.com/jp